

令和4年度 大村市立福重小学校 学校評価

1 教育目標

郷土とのつながりを大切にしながら、素直に表現し、豊かにかかわりあい、最後までやりぬく福重っ子を育成する。

2 学校経営方針

- ◇ 教育活動の主体は子どもであることを学校経営の基盤とする。
- ◇ 知ること、知らせることを重視し、家庭・地域と連携する中で、教育活動を進める。
- ◇ 子どもの未来を保障する。地域・社会の未来を支える確かな学力を身に付けさせるために、教師は授業で勝負する。
- ◇ 働き方改革によるマンパワーの重点化・焦点化を図る。

3 目指す児童像

◇ (ふ) ふるさとを愛する子 ◇ (く) くふうして学ぶ子 ◇ (し) しんせつな子 ◇ (げ) 元気な子

4 重点努力目標

- (1) 家庭地域との積極的なコミュニケーション、たより・HPを中心とした情報発信
- (2) 地域のもの・ひと・ことを積極的に取り入れる教育活動の展開と地域への積極的参加
- (3) 「主体的・対話的で深い学び」の授業改善、スキルタイムの充実、GIGAスクール構想の実現
- (4) 一人一人に居場所のある学級・学校づくり、「特別の教科 道徳」の充実、特別支援教育の充実
- (5) 体育の学習を中心とした体力づくり、防災教育・安全教育の充実、食育の充実

令和4年度 学校評価アンケート(後期)

自己評価・分析 ※自己評価のアンケートは、4段階で回答するようにして、その内上位2段階を肯定的回答として、その割合を計上する。

| 質問内容(保護者・職員への文言・児童へは類似の簡易な文言) | | 児童 | 保護者 | 職員 | 分析・対策 |
|-------------------------------|--|-----|-----|------|---|
| 教育目標 | 1 子供は、ふるさと(福重地区、大村市)のよさを知り、大切に思っている。(ふ) | 91% | 88% | 100% | ○ふるさと(福重地区、大村市)のよさを伝える本校の姿勢は、児童に伝わっている。 ○今年度、重点目標である「工夫して学ぶ」(く)は更なる取組の必要性を感じる。 ○「しんせつ」(道徳性)で「げんきな」(心身の健康)児童の育成には三者の評価が高く、現在の取組を年度末まで計画通り進めていきたい。 |
| | 2 子供は、素直に表現し、進んで学習している。(く) | 88% | 89% | 100% | |
| | 3 子供は、誰とでも仲良くし、明るく生活している。(し) | 96% | 94% | 94% | |
| | 4 子供は、元気で最後までやりぬこうとしている。(げ) | 89% | 95% | 100% | |
| 広報個性相談 | 5 学校は、教育方針や子供の様子を知らせている。(ふ) | 84% | 90% | 100% | ○質問や相談の対応は保護者は高評価であるが、児童は改善の余地があるため一人一人の要望に丁寧に答えていく。また、学校からのお知らせは今後もしっかりと伝えていく。 ○「特性についての理解」は保護者と児童・職員との評価に差がみられる。個々の特性を尊重できる学校づくりに今後も努める。 |
| | 6 学校は、子供の特性について理解し、寄り添いながら指導している。(し) | 92% | 88% | 94% | |
| 連携 | 7 学校は、子供や保護者の質問や相談に丁寧に答えている。(ふ) | 83% | 93% | 100% | ○コロナに対する認識が変わり始めたため、家庭・地域との連携を再び進められた。11月は竹灯籠祭りや秋祭りでたくさん地域住民と児童と保護者とが参加した。これらの経験を積み重ね、ふるさとを愛する子を育てる。中学校とは職場体験学習で4名の生徒を受入れ、幼保とは生活科学習で交流し、連携を図ることができた ○安心できる環境については常に危機意識を持ち、早急に課題を把握すると共に、調査、改善していく。 |
| | 8 学校はPTAとや地域の活動と積極的に連携している。(ふ) | 92% | 98% | 100% | |
| 不登校 | 9 学校は幼稚園・保育園・中学校と積極的に連携している。(ふ) | 90% | 88% | 94% | ○「わかりやすい授業」は更に高みを目指す。家庭学習の取組を徹底し学力の向上を達成する。 ○学習内容の活用に関しては、コロナの状況を見極めながら、150周年記念事業のような特別活動を仕組み、習得したことを発表する場を設定し、表現力の向上を図る。 |
| | 10 学校は、子供が安心して学習・生活できる環境づくりをしている。(し) | 93% | 95% | 100% | |
| 学力 | 11 学校は、いじめや不登校の未然防止や問題に適切に対応している。(し) | 90% | 89% | 100% | ○基本的な人権を尊重する心を育て、「親切な言動」「返事・挨拶」「あとしまつ」など、道徳的実践意欲と態度を身に付けよう目指している。しかし、保護者の評価からは実践意欲と態度の継続にはまだ努力の余地があることが分かる。言葉遣いや挨拶は家庭と連携し、指導をしていく。 |
| | 12 学校は、子供にわかりやすい授業をしている。(く)+5 | 94% | 96% | 94% | |
| | 13 学校は、子供が家庭学習に取り組むよう指導している。(く)+3 | 88% | 93% | 100% | |
| 心 | 14 学校は、子供が身に付けたことを学習や生活の場で活用させている。(く) | 84% | 93% | 100% | ○整理整頓・掃除、規範意識については三者とも評価が高い。 ○「早寝・早起き・朝ごはん」については、家庭の取組になるが、三者の数値が上がるよう学校からも啓発を続ける。 ○「地域のよさ」については、生活科、社会科、総合的な学習等授業でも学習する。「地域のよさ」が伝わる工夫と共に、子どもたちが地域の方々の働きぶりに触れられるよう、更に多くの機会を提供したい。 ○情報モラルについては児童と教職員の評価が低い。学校からの指導・情報に対して保護者は理解を示してしているが、児童の意識付けや実践に十分につなげていない。 |
| | 15 学校は、子供に言葉遣いや挨拶の指導をしている。(し) | 94% | 90% | 100% | |
| | 16 学校は、子供の変化やサインを敏感に感じ取り、声掛けをしている。(げ)+4 | 93% | 90% | 89% | |
| 生活 | 17 学校は、子供が道徳的な言動ができるように指導している。(く)+4 | 87% | 93% | 94% | ○「地域」については、生活科、社会科、総合的な学習等授業でも学習する。「地域のよさ」が伝わる工夫と共に、子どもたちが地域の方々の働きぶりに触れられるよう、更に多くの機会を提供したい。 ○情報モラルについては児童と教職員の評価が低い。学校からの指導・情報に対して保護者は理解を示してしているが、児童の意識付けや実践に十分につなげていない。 |
| | 18 学校は、子供が整理整頓や掃除をするよう指導している。(げ)+4 | 93% | 96% | 94% | |
| | 19 学校は、子供がきまりやルールを守って生活するよう指導している。(し)+4 | 95% | 96% | 100% | |
| 郷土 | 20 学校は、子供の登下校等安全について指導している。(ふ)+2 | 95% | 95% | 100% | ○「地域」については、生活科、社会科、総合的な学習等授業でも学習する。「地域のよさ」が伝わる工夫と共に、子どもたちが地域の方々の働きぶりに触れられるよう、更に多くの機会を提供したい。 ○情報モラルについては児童と教職員の評価が低い。学校からの指導・情報に対して保護者は理解を示してしているが、児童の意識付けや実践に十分につなげていない。 |
| | 21 学校は、「早寝・早起き・朝ごはん」等生活習慣の指導をしている。(げ) | 81% | 93% | 89% | |
| 社会 | 22 学校は、地域のよさ(人材・施設・歴史・文化・産業等)を伝える取組をしている。(ふ) | 95% | 98% | 94% | ○情報モラルについては児童と教職員の評価が低い。学校からの指導・情報に対して保護者は理解を示してしているが、児童の意識付けや実践に十分につなげていない。 |
| | 23 学校は、ゲーム・スマホ・タブレット等の情報モラルについて指導している。(げ) | 84% | 91% | 89% | |